

## 仮想テープ装置

## N3631

カートリッジライブラリ装置をエミュレート。  
既存アプリケーションを用いて、高速なテープ入出力を実現します。

## 特長・機能概要



## ■ 既存資産で利用可能

カートリッジライブラリ装置をエミュレートする装置で、これらのカートリッジテープライブラリ装置を使用する業務の移行が容易です。

## ■ 高速データアクセス

ディスクアレイ上に仮想化されたテープイメージのデータを保存するため、機械的なカートリッジのマウント/デマウント動作がなく、磁気テープのロード/アンロード時間やファイルサーチ時間を短縮でき、高速なデータアクセスが可能です。

## ■ 高い信頼性、稼働率

ハードウェアを二重化し、稼働率の向上を図っています。仮想テープとしてデータを保存するディスクアレイは、信頼性の高いRAID-6/Triple Mirror構成を採用しています。

## ■ 省スペース軽量化

磁気テープドライブやアクセッサ、テープなどを仮想化して、すべての構成機器を一筐体に搭載。19インチラックサイズのスペースに設置でき、フロアを有効に使用することができます。

## ■ LTOテープでの仮想テープの入出力が可能

LTOテープライブラリ機構を搭載することにより、仮想テープをLTOテープに書き出して外部保管することができます。<sup>注1)</sup>

さらに、LTO暗号化管理機構により、LTOテープに記録されたデータの暗号化/復号化が可能です。テープにはLTO5/6 テープカートリッジを採用し、大容量化を実現。従来装置で書き込まれたLTO4テープカートリッジの読み込みも可能です。

## ■ iStorage HSへの仮想テープの入出力が可能

ネットワーク入出力機構の搭載により、仮想テープをiStorage HSにファイルとして入出力することができます。<sup>注2)</sup> LTOテープライブラリ機構搭載時にはLTOテープへの同時出力も可能です。iStorage HSの機能と組み合わせることで、テープの遠隔地保管と同様な災害対策を実現できます。

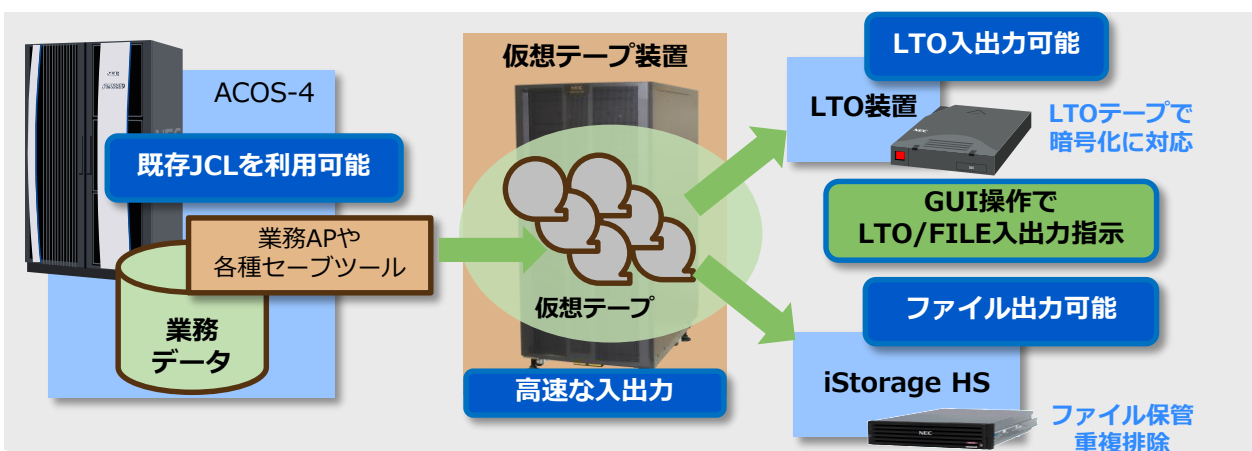
## ■ 機能概要

N3631仮想テープ装置は、ACOS-4系システムに接続され、N3645 および N3646カートリッジライブラリ装置をエミュレートする装置です。記憶容量2.1TB~30.7TB（非圧縮時）の8モデルがあり、仮想化した36または128トラック仕様の仮想テープを500巻から8000巻まで格納できます。仮想テープコントローラを最大2台まで搭載可能で、仮想テープコントローラ毎に最大16台（合計32台）の仮想ドライブを搭載することができます。仮想テープ制御を行う記憶ディレクタや仮想テープを格納する内蔵ディスクアレイ、電源など構成部品は全て二重化または冗長構成となっており、並列処理や自動代替処理が可能です。また、仮想テープ数や記憶容量、仮想ドライブ等のフィールドアップグレードも容易に行うことができます。

注1) LTOテープの出力形式は独自フォーマットです。他社システムでは読み出しできません。

注2) ファイルの入出力形式は、独自フォーマットとJEITA IT-1003規格に準拠した2種類のフォーマットをサポート。

## 機能イメージ



## 装置仕様

## ■ 規格・性能

項目	仕様	
記憶容量[TB]	2.1 ~ 30.7 (6.3 ~ 92.1) (注1)	
仮想テープ数[巻]	500、1,000~8,000 (1,000巻単位)	
仮想テープ容量	0.8×N [GB] (Nは1~255の整数) (注2)	
仮想ドライブタイプ	36または128 (注3) トラックドライブ	
接続可能チャンネル	高速光ループチャンネル C/D	
チャンネルデータ転送速度	800[MB/s] (注4,5)	
マウント/デマウント時間	3秒以内	
ロード/アンロード時間	3秒以内	
仮想テープコントローラ数	1~2	
記憶ディレクタ数	2 (仮想テープコントローラ当たり)	
入出力ポート数	標準2、最大4 (記憶ディレクタ当たり)	
チャンネルケーブル長 [m]	最大150 (注5)	
仮想アクセス機構	2	
仮想ドライブ数	最大	32
	標準	2
ネットワークポート	数	2
	規格	10/10/1000 BASE-T

注1) 非圧縮時。カッコ内はデータ圧縮機構を搭載し、圧縮率3:1とした場合の値。

なお、圧縮率はデータ内容によって異なる。  
1TB=1,000,000,000,000バイトとして計算した値。

注2) ソフトウェアにテープの終端 (EOT) を報告する容量。  
あらかじめ仮想テープに割り当てられる記憶容量ではない。  
仮想テープ毎に設定可能。データ圧縮機構搭載時は圧縮後のデータ容量。  
1GB=1,000,000,000バイトとして計算した値。

注3) オプションの128TrEミューレート機構が必要。

注4) 瞬時最大値であり、システム構成、システム動作条件等に依存する。

注5) 高速光ループチャンネル接続時。

注6) 最大構成時の値。(LTOテープドライブ機構を含む)

注7) データカートリッジおよびクリーニングカートリッジを除く。

注8) データ圧縮率を2:1とした場合の値。(LTO6は2.5:1) 圧縮率はデータ内容によって異なる。

■ 注意事項 本書に記載されている商品の補修用性能部品の最低保有期間は7年です。

■ 商標および登録商標 LTO、Linear Tape-Open、Ultriumは、Hewlett Packard Enterprise、IBM、Quantumの米国、および、その他の国における商標または登録商標です。

**安全に関するご注意** ご使用の前に、各種マニュアル（「取扱説明書」、「設置計画説明書」、「運用説明書」等）に記載されております注意事項や禁止事項をよくお読みの上必ずお守りください。誤った使用方法は火災・感電・けがなどの原因となることがあります。

お問い合わせは、下記へ

NEC プラットフォームソリューション事業部 (ACOS担当)  
〒108-8424 東京都港区芝五丁目33番8号 (第一田町ビル)  
E-mail : [a-club@acos.jp.nec.com](mailto:a-club@acos.jp.nec.com)  
<http://www.nec.co.jp/products/acosclub/>

- このカタログの内容は改良のために予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品の輸出 (非居住者への役務提供等を含む) に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きに当たり資料が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。
- 本製品には、有寿命部品 (ハードディスクドライブ、電源、ファンなど) が含まれています。製品の設置環境など使用状態によっては早期に有償で交換が必要になる場合があります。
- テープカートリッジやディスクアライメントコントローラのバッテリーなどは、使用することにより消耗し、有償で交換が必要になる消耗品です。

## ■ 構造規格

項目	仕様	
寸法 [mm]	幅	600
	奥行	1,020
	高さ	1,265
質量[kg]	365 (注6、注7)	
電圧[V]	AC200-240単相	
周波数[Hz]	50/60	
消費電力[kVA]	1.48以下 (注6)	
発熱量[kJ/h]	5,010以下 (注6)	
温度条件[°C]	15~32	
湿度条件[%]	20~80	

## ■ LTOテープドライブ機構の性能規格

項目	仕様
カートリッジスロット数	44個+クリーニングカートリッジ用1個 (LTOスロット増設機構使用時 12個増)
メールスロット	2個
搭載ドライブ	LTOテープドライブ機構
搭載ドライブ数	1~2台(1台標準搭載)
使用カートリッジ	LTO6 LTO5 LTO4(入力のみ)
カートリッジ容量[GB]	LTO Ultrium6 : 2500 (6000 (注8)) LTO Ultrium5 : 1500 (3000 (注8)) LTO Ultrium4 : 800 (1600 (注8))